

小野小学校だより

令和3年4月14日 第2号

入学式

入学式して1週間が過ぎました。

新入生56名が入学しました。

入学した次の日から給食でしたが、配膳もこぼさずに上手にできています。給食は無理に食べさせる指導はしていません。それでも牛乳やご飯を残す子どもが少なく、もりもり食べています。

ちなみに、左の写真は入学後2日目の給食です。イチゴのショートケーキは、調理員さん方の手作りで、手作りを少しでも安く、安全で、おいしいデザートを提供してくれています。

大きな地震に対する避難訓練

① 「大きな地震です。」

この時、子どもたちは机の下に隠れますが、机の脚をしっかりと握り、机だけが動かないようにすることが大切です。

② みんな校舎から出て、道路を避

難をしています。どうして、わざわざ車が通る道路に出るのでしょうか。

③ 実は、前回の2月の地震で体育館の○がついている窓ガラスが割れ、窓の下に落下しました。避難途中で余震が来て、子どもたちの上にガラスが落ちてくることを避けるために、体育館の窓の下を通らずに避難することにしました。

④ 420人以上が校庭に避難する

までかかった時間は、5分30秒でした。整然と避難をすることができました。

●学校の様子については、学校のHPもご覧ください。



●遠足や見学学習は、時期の変更や計画の見直しが比較的容易であるため、現段階では春から夏にかけて計画する学年もあります。

宿泊学習・修学旅行の実施方針については、後日、別紙にて詳しくご説明いたします。

5つの大切な約束



授業や学校行事での感染予防について (いずれもマスク着用が前提)

- ① 各教科等に共通する活動として「児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」…原則的に1単位時間に15分まで。
- ② 理科における「児童同士が近距離で活動する実験や観察」…できる限り個別化を図りながら15分まで。
- ③ 原則的に5月9日まで控える学習活動
 - ・音楽における「室内で児童が近距離で行う大きな声での合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の演奏」
 - ・図画工作、生活科、社会科における「児童同士が近距離で活動する共同制作等」
 - ・家庭科における「児童同士が近距離で活動する調理実習」
 - ・体育の「児童が密集する運動」や「近距離で組みあう運動」



小野町では、3月から4月にかけて新型コロナウイルス感染者が増加しています。

県知事からのメッセージ(4/1)では、「県内の感染状況を踏まえ、先週の本部員会議において、大型連休が終了する5月9日(日)までの間、クラスターの未然防止にポイントを絞った重点的な対策を継続すること」となりました。町では、「5月9日まで不要不急の会議を控える」よう放送をしています。このことを受け、本校ではより厳しい対応が必要な「感染拡大都道府県」のレベルにあわせた小野小独自のガイドラインで授業を実施しています。

現状での学校としての危機感

小野町での感染状況の悪化を踏まえ、学校では次のような危機感をもっております。

今の日本の状況は、誰がいつ、新型コロナウイルスに感染してしまっても不思議ではない状況だと思います。

子どもたちの家庭で誰かが新型コロナウイルスに感染する。子どもが感染者、または濃厚接触者に指定される。

学校が臨時休校となる。

臨時休校の数日後、または、2・3週間後の大きな学校行事が中止、延期になってしまう。

●延期や中止になって子どもたちががっかりする大きな行事は、ワクチン接種が始まった夏から秋以降に計画する。

【該当する行事】

- ・宿泊学習(5年 夏から秋以降に1泊2日で計画)
- ・修学旅行(6年 秋以降に1泊2日で計画)
- ・運動会(全校 10月16日(土)に予定)

- 行事のために練習や事前指導を進め、子どもたちの期待感が高まった段階になって行事が延期・中止になると、子どもたちの落胆が大きくなる。
- 今の段階だと参加できなくなる子どもが出てくる可能性がある。
- うわさや風評がなくても、感染した家族は「我が家が新型コロナウイルスに感染したから大きな行事を延期することになってしまった。」と考えてしまう。

たくさんの6年生が1年生の手をつないで登校してくれています。

肩からすり落ちそうな黄色いカバーがついたランドセル。その手をしっかりと握り、昇降口まで連れて行ってくれる6年生。6年生としての責任感やあたたかさが伝わってきます。

